

(事業実施の方針)

- ア 昭和50年度まで、各年次ごと、独立公民館新設5館、併置公民館を独立公民館に5館、計10館の公民館整備につとめる。
- イ 独立公民館未設置市町村の解消につとめる。
- ウ 公民館建設を推進するため、県は助成措置を講ずるよう努力する。
- エ 国庫補助の枠の確保につとめる。

(2) 図書館

[施策設定の理由]

一般公衆に開放して、幅広いサービスを提供する公共図書館は、今後ますますその役割の重要性を増すとともに内容の充実が望まれるが、本県の公共図書館の設置状況は、県立図書館1、同分館6、市立図書館5という現状である。既存図書館の内容の充実とともに、積極的な奉仕活動の拠点としての市立図書館の建設を促進する必要がある。

[施策の目標]

昭和50年度までに、常磐地区ならびに、図書館未設置4市に各1館、計5館の新設をはかる。

[事業計画]

公共図書館新設計画

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度	
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費
公共図書館新設	市	市立図書館新設(常磐地区)1館 鉄筋 800坪 土地2,000坪 (2640m ²) (6600m ²) 建物建築単価(坪)土地(坪) (R120千円) (千10円) 96,000千円 20,000千円 設備 7,000千円	千円 123,000	市立図書館新設 4館 鉄筋 300坪 土地 1,200坪 (990m ²) (3960m ²) 建物建築単価(坪)土地(坪) (R100千円) (8千円) 千円 120,000千円 38,400千円 設備 (各4700千円)18,800千円	千円 177,200

[事業実施の方針]

- ア 公共図書館未設置5市に市立図書館各1館の新設を推進する。
- イ 公共図書館の新設を推進するため、県は助成措置を講ずるよう努力する。
- ウ 国庫補助の枠の確保につとめる。

(3) 美術博物館

[施策設定の理由]

本県において、美術博物館は県立、市立ともに未設置である。芸術文化の振興、文化財の保護はもとより、創造性豊かな県民づくりのうえからも、きわめて重要な役割をもつ美術博物館の建設は、多年の県民の要望であり、早期建設の必要がある。

[施策の目標]

昭和45年度を目標に県立美術博物館1館、市立2館、昭和50年度までに市立4館の新設を